

### (3) 大学院

#### I. 医学研究科医学系専攻博士課程

医学系専攻・看護学専攻の業務連携を強化し、行事の協力体制、個々の業務の利点を生かした業務改善に取り組み、大学院業務の一体化を開始した。

##### 1. 研究助成制度の運営について

研究の充実と活性化を堅持することを目的として、研究助成制度を運営している。2022年度の採択件数は次のとおりである。

###### 1) 大学院研究助成金

2022年度採択件数：24件

###### 2) 医学研究科研究推進費

2022年度採択件数：新規2件、継続2件

##### 2. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の継続について

筑波大学を代表校とする文部科学省がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」に連携12大学のひとつとして加わり、①がんゲノム医療人養成、②小児・AYA・希少がん専門医療人養成、③包括的ライフステージサポート医療人養成の3コースを設けており、2022年度は20名が新規で受講登録をした。

##### 3. 国立がん研究センターとの連携大学院について

2022年度は3名の連携大学院生が課程を修了（学位取得）した。学位論文審査においては、連携大学院教員が学位論文審査委員会審査委員として審査に参画した。1月16日に「第4回連携大学院生による研究発表会」をTV会議システム（Zoom）にて開催し、大学院生28名、教職員22名の参加があった。

##### 4. 国立精神・神経医療研究センターとの連携大学院について

2021年度より国立精神・神経医療研究センターと連携大学院制度を開始し、2022年度は4名の連携大学院生が入学した。また、10月11日にTV会議システム（Zoom）にて、第1回の教育・研究に関する協議会を開催し、今後の活動内容について検討を行った。学位論文審査においては、連携大学院教員が学位論文審査委員会審査委員として審査に参画した。

##### 5. 入学試験について

2023年度の大学院医学研究科医学系専攻博士課程入試について、一次募集は2022年9月24日に、二次募集は2023年1月21日に実施した。48名（うち社会人20名）が合格し、国立がん研究センターの連携大学院生は8名、国立精神・神経医療研究センターの連携大学院生は2名である。本学の大学院生は学内の各講座、総合医科学研究センターのみならず、東京大学、京都大学、九州大学、慶應義塾大学、杏林大学、東京女子医科大学、日本医科大学、東京医科歯科大学、東海大学、国立成育医療研究センター、国立国際医療研究センターなど国内の様々な国公私立大学、研究所で研究を行っている。

##### 6. その他

###### 1) 共通カリキュラムについて

共通カリキュラムは、昨年度に引き続き、多くの授業科目で遠隔講義とし、e-learningやTV会議システム（Zoom）を活用した。社会人学生においては、登校授業が難しいことや振り返りの学修が可能となることから遠隔講義は、とても好評であった。

###### 2) 3委員会（入試委員会、カリキュラム委員会、FD・SD委員会）の新設と運用について

大学院教育の充実を図るために3委員会（入試委員会、カリキュラム委員会、FD・SD委員会）を新設し、規程を制定した上で運用を開始した。入試委員会においては、外国語試験の外部試験結果の活用について検討を始めた。カリキュラム委員会においては、共通カリキュラムの充実を図るために現状の問題点の洗い出しと改善に向けての意見交換を実施した。FD・SD委員会において、教育・研究と更なる社会貢献の充実を図るためにFD・SD研修会を今年度3回（公演形式、e-learning）実施した。各研修会では、医学系専攻教員にとどまらず、看護学専攻教員ならび両専攻、学部の学生などの参加を募った。

## II. 医学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程

2022年度の看護学専攻の授業は、新型コロナウイルスの感染対策を厳守した上で全ての授業においては、原則登校授業とした。

### 1. Faculty Development (FD) の実施について（看護学科との共催）

- ① 2022年7月23日に、草柳浩子氏（上智大学 総合人間科学部看護学科長）を招聘し、「アクションリサーチの基礎と実践」をテーマに講演会を開催し、36名が受講した。
- ② 2022年10月6日に、Ian Norman教授（King's College London）を招聘し、「看護学研究についての考察～国際雑誌に掲載・引用されるだけでなく感動を与えるために～」をテーマに講演会を開催し、48名が受講した。

### 2. 研究助成制度について

学生に対する教育研究助成は大学院研究助成制度と研究指導費からの助成を活用しており、2022年度の大学院研究助成制度採択者は、博士前期課9名、博士後期課程2名であった。

### 3. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の受講状況について

2022年度に入学したがん看護学領域の学生3名が、「包括的ライフステージサポート医療人養成コース」に登録した。

### 4. 静岡がんセンターとの専門性強化に向けた連携について

本学と静岡がんセンターとは看護学教育、看護研究ならびに医療、公衆衛生に関する教育研究の連携について協定を締結しており、2022年度同センターより、がん看護学領域に2名の学生が入学した。

### 5. 入学試験について

#### ・看護学専攻博士前期課程

入学説明会を2022年7月12日に実施し、18名が参加した。

出願資格認定試験：2022年9月11日に、提出書類による出願資格認定審査を行い、1名が合格した。

入学試験：2022年9月18日に専門科目および外国語（英語）、面接による入学試験を実施し、10名の応募に対し7名が合格した。

#### ・看護学専攻博士後期課程

入学説明会を2022年7月12日に実施し、2名が参加した。

入学試験：2022年9月11日に専門科目および外国語（英語）、面接による入学試験を実施し、2名の応募に対し2名が合格した。

### 6. 博士前期課程修了式について

2023年3月25日に修了式を挙行了した。対象学生は、2019年度入学生1名、2020年度入学生2名（長期履修生）、2021年度入学生4名の合計7名である。

### 7. 教育課程の評価と改善について

学生による授業評価は、講義終了後に科目責任者と履修生が講義内容について評価を行う方式と修了生を対象に自由記載のアンケート方式を実施し、その評価結果を基に科目ごとの評価・検証を行い授業改善に繋げた。また、修士論文・博士論文進捗状況アンケートを行った結果、昨年度実施した審査体制の改善により、論文作成の進捗が大幅に改善されていることを確認した。カリキュラム評価については、例年修了時に実施していたが、今年度より博士前期課程1年次を対象に中間評価を開始し、より早い段階で課題解決に繋がられるよう仕組みを構築した。

### 8. 高度実践看護師教育課程（専門看護師）について

急性・重症患者専門看護師認定審査に7名の修了生が受験し、6名が合格した。なお、今回合格に至らなかった1名も、1次審査は合格しており、次年度再挑戦する予定である。

### 9. 看護学専攻博士後期課程について

2019年度より看護学専攻博士後期課程を設置し、2021年度に完成年度を迎えたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で研究に遅滞が生じ、修了生の輩出には至っていない。